

【河川】第10回雄物川圏域流域治水協議会作業部会 「田んぼダム」現地視察を開催しました！

令和5年7月5日
湯沢河川国道事務所

1. 概要

- 本現地視察は、「流域治水プロジェクト」において位置付けられた事業を雄物川圏域内の関係機関で共有し情報交換の場として活用するほか、得られた情報を基に流域内に広く展開して頂き、あらゆる関係者による流域治水の更なる推進・実践していくものであります。
- 第六回目となる現地視察では、秋田県仙北地域振興局農林部と地元(大仙市や土地改良区)が連携し取り組んでいる「田んぼダム」について現地視察を行ったものであります。

2. 日時／実施状況

- 日時：令和5年7月5日(水)
- 説明会場：大仙市史跡の里せんぼく「さくまろ館」大会議室
- 現地視察箇所：日本型直接支払交付金活動地域(大仙市高梨地内)：「畑屋中央地区」ほ場整備箇所(美郷町安城寺地内)
- 出席者：東北農政局西奥羽土地改良調査管理事務所、秋田県(建設部・秋田地域振興局建設部、仙北地域振興局農林部・建設部)、湯沢市(総務部)、秋田市(総務部・建設部)、大仙市、美郷町、千畑土地改良区、東北地方整備局(成瀬ダム工事事務所・玉川ダム管理所・湯沢河川国道事務所) 計40名参加

- 次第 進行：事務局 湯沢河川国道事務所 流域治水課
 1. あいさつ(秋田県仙北地域振興局 池田農林部長)
 2. 田んぼダム：概要説明
 - 1)「流域治水プロジェクト」における「田んぼダムの位置付け」
 - 2)大仙市における「田んぼダム」の取組状況
 3. 田んぼダム：現地視察
 4. 意見交換

あいさつ 秋田県仙北地域振興局 池田農林部長



- ・令和3年度より美郷町におけるスマート田んぼダム実証や各種の普及啓発活動を実施
- ・農家の合意形成が不可欠であり、納得感と安心感を持って取り組んでいただくことが重要
- ・今後、有識者の協力も仰ぎながら効果検証を進め、田んぼダムの更なる普及拡大に向けて取り組む



説明会場(田んぼダム説明)



↑説明会場の状況(大仙市からの田んぼダムの説明)

現地視察(①田んぼダム(大仙市))



←①田んぼダム

機能分離型
排水方式

現地視察(②スマート田んぼダム(美郷町))



↑②スマート田んぼダムの説明状況



↑排水口に設置された機器
スマートフォンで遠隔操作指示可能